



森の響き、湖の歌

Metsän ääni, Järvilaulu

ーチェロとピアノによるフィンランド音楽の世界

Suomen musiikkia sellolle ja pianolle

2014年

6月8日(日) 14:00 開演
(13:30 開場)

竹風堂 大門ホール

全席自由 一般 2000円 学生1500円

-Program-

シベリウス：悲しきワルツ 作品44-1

Sibelius: Valse Triste, Op. 44-1

シベリウス：フィンランディア（ピアノソロ版）

Sibelius: Finlandia, Op. 26 (Piano Solo Version)

シベリウス：ロマンス 作品78-2

Sibelius: Romance, Op. 78-3

マデトヤ：抒情組曲 作品51

Madetoja: Lyrische Suite, Op. 51

間宮芳生：5つのフィンランド民謡

Mamiya: 5 Finnish Folk Songs

ほか

■主催・お問い合わせ

ヴィルタ・ミュージック ☎080-5108-7835(小川) ✉ virtamusic@gmail.com

■後援：フィンランド大使館 長野市教育委員会



クリストファー・ギブソン

アメリカ・ミシガン州に生まれ、4歳よりチェロを始める。小学校より日本に移住、チェロを藤村俊介氏に師事。横浜インターナショナルスクールを首席卒業後、米エール大学へ入学。哲学と政治学を二重専攻する傍ら、アルド・パリソ氏のオーディション後、エール大学音楽院にて、オーレ・アカホシ氏にチェロを師事、2011年秋に卒業。哲学や演劇をベースに英語を教える傍ら、チェリストとして東京を中心に活躍中。



小川 至

長野市生まれ。4歳よりピアノを始める。武蔵野音楽大学器楽科を卒業。在学中に福井直秋記念奨学金を授与される。同大学院修士課程修了後、ロシアに渡り、チャイコフスキー記念モスクワ国立音楽院に留学。これまでにピアノを小川葉子、村上直行、山田彰一、ジュリア・ガネヴァ、アンドレイ・ピーサレフの各氏に、伴奏法をナタリア・パタショヴァ氏、ヤン・ホラーク氏に師事。現在も後進の指導に力を入れる傍ら、ソロや室内楽などの分野で長野と東京を中心に活動中。

■ホールアクセス

